

デザイナー講師



養成講座

ver.2025.1.1



エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「**主剤**」と「**硬化剤**」の2液を混ぜて化学反応により硬化させる樹脂のこと

-----※硬化不良を防ぐ※-----

注意点①
比率を間違えない



注意点②
よく混ぜる



※取り扱う際※



★3種類のレジン★

波専用レジン



混合比 **2:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **25℃ 2日間**

適応作品 波アート等の
薄い作品

クリスタルモールドレジン



混合比 **3:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23℃ 3日間**

適応作品 トレーやキューブ等
の分厚い作品

コーティングレジン



混合比 **4:3**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23℃ 3日間**

使用用途 作品の
コーティング

LED

ライトキューブ ～作り方～



用意するもの



材料

- クリスタルモールドレジン ■LEDガーランド
- 着色剤(エポキシアートキットにはコピックインク在中)
- (対面レッスン限定)ラメや封入物※物により浮き沈み有・ラメは粒子が細かいもの

道具

- ☐電子スケール ☐混ぜ棒(太) ☐キューブ型シリコンモールド ☐ガムテープ
- ☐竹串 ☐ビニール手袋 ☐プラカップ ☐カバー箱 ☐水 ☐水を入れる容器 ☐保冷剤

★作り方★



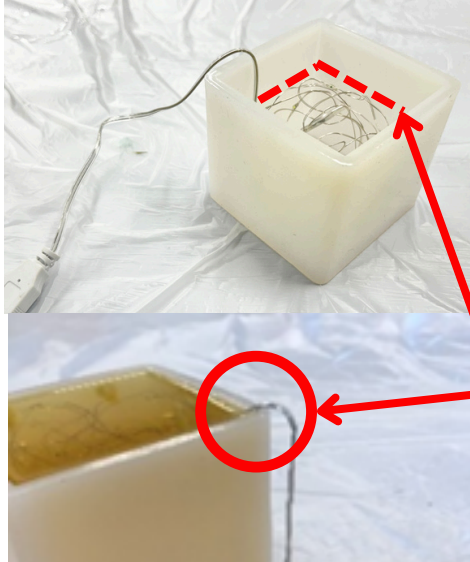
①ガムテープでモールドの埃を取りながらキズがないかを確認する

埃・キズが残るとそのまま固まってしまうたり痕になってしまう為、要確認する。
また、曇ったモールドを使用すると、完成後も曇ってしまうので劣化したモールドは新品に交換する。



②LEDの電源を入れて光るか確認する

レジンが硬化した後は交換が出来なくなる為、事前に確認する。
※対面レッスン：USBタイプか電池タイプか選択制



③配線をほぐし、まとめてモールドに入れる

断線に注意！

※ギュッときつくまとめず、ふんわりと

※配線のビニールで覆われていない部分がレジンの水面部分から飛び出すと断線の恐れあり

【対策】

①配線はモールドの3/4くらいの高さまで抑える

②レジンから飛び出る(レジンの水面と交わる)部分は配線のビニールで覆われている箇所にする



④レジンを混ぜる

主剤3:硬化剤1の割合で**クリスタルモールドレジン**を混ぜる。
レジン使用量300gの場合(主剤225g:硬化剤75g)

※収縮率が高いレジンを使用すると、作品に亀裂が入るリスク

があるため、クリスタルモールドレジン使用

気泡が入らぬ様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかり混ぜる。



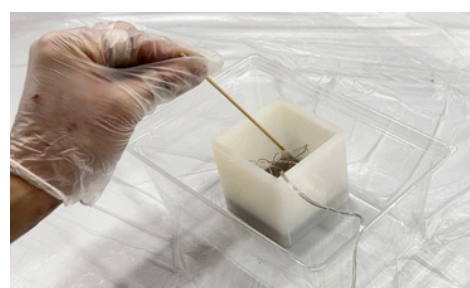
⑤着色剤を混ぜる

混ぜた後にカップのまま少し時間をおいて気泡を抜く。

※色付けしなくてもOK

※青系での色付けや気温が高い場合は、硬化が早まるので放置禁止

※対面レッスン：ラメを入れてもOK(大粒は沈むので注意)

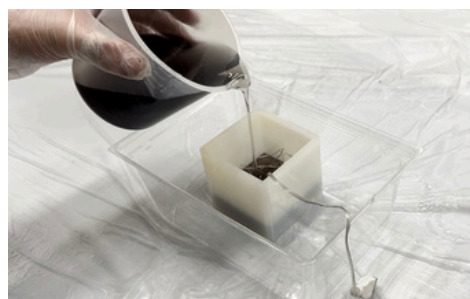


⑥モールドにレジンを注ぎ入れ、バリ対策をする

※“水を入れる容器”の中にモールドを入れて作業をする

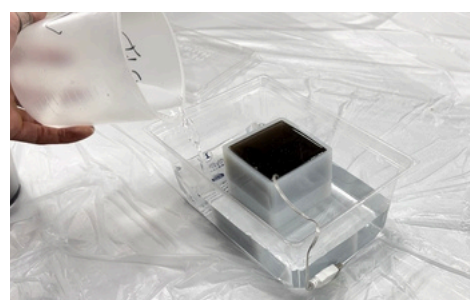
モールドの1/4くらいまでレジンを入れる。

バリ対策のため、竹串でモールドの角の気泡を取り、辺をなぞる。



⑦残りのレジンを注ぐ

LEDガーランドの配線がはみ出してる部分があれば混ぜ棒などで抑えてレジンに沈ませる。



⑧水を注ぐ

ヒケ防止のため、周りを水で冷やす。

※水とレジンが触れないように細心の注意を払う

※気温が高い日などは、水に保冷剤を入れると更にヒケ防止に



⑨約3日間、硬化を待つ

硬化中に埃がつかないように蓋や段ボールでカバーをする。

注意！！ヒケ防止のため気温25度以下の涼しい場所に置く



⑩硬化後にモールドから外す

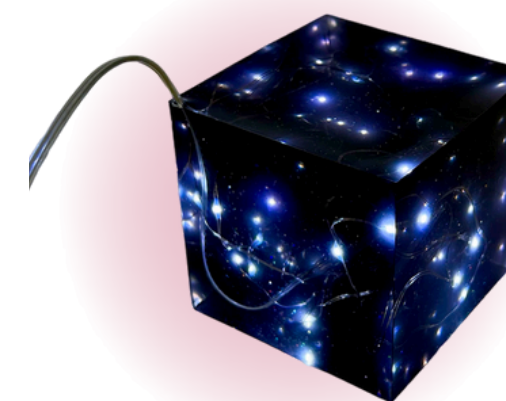
約3日後、完全硬化後にモールドから外す。

モールドから抜く時は四辺にヘラのような物を差し込み
モールドの底から押し出すように抜く。

※エポキシアートキットにヘラは付いていません

上面の四辺にバリができればやすいので手を切らない様に注意。
バリができていた部分はヤスリで削る。

※面を削るとキズが付き、曇ったようになるので注意



LEDライトキューブ完成！

※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

**エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒**

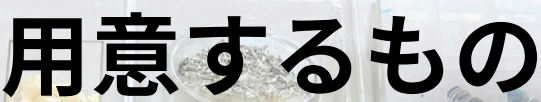


LINE



Instagram

～作り方～



■波専用レジン ■着色剤(宝石の雫) ■封入物(貝殻,サンゴ,メタルパーツ,ラメなど)

☐電子スケール ☐ガムテープ ☐ピンセット ☐竹串 ☐モールド(イニシャル正文字)
☐スポイト ☐ビニール手袋 ☐紙コップ(60ml) ☐混ぜ棒(細) ☐カバー箱

①封入物、色、作る文字を選ぶ

※対面レッスン限定：ご希望があれば花もOK

※追加オプション：一文字2000円



埃・キズが残るとそのまま固まってしまうたり
痕になってしまう為、要確認する。

また、曇ったモールドを使用すると、

完成後も曇ってしまうので劣化したモールドは交換する。





③封入物の配置を決める

モールドに封入物を配置して決めたら、一度取り出す。
※細かいサンゴ(砂)を使用する場合はこの時点では入れない
※配置を覚えておくため、
取り出す前に写真などを撮っておくのがおすすめ



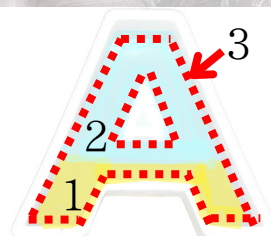
④レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で**波専用レジン**を混ぜる。
※モールド作品だが、ぷっくり仕上げにするためクリスタルモールドレジンではなく、波専用レジンを使用
レジン使用量36gの場合**(主剤24g:硬化剤12g)**※約3文字分
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。



⑤レジンを取り分け、着色剂を混ぜる

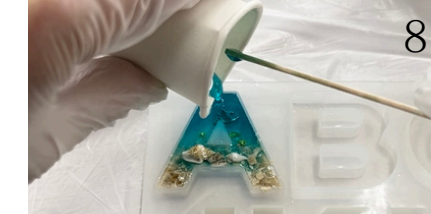
色付け用レジン14gを取り分け、着色する。
※はじめは着色剤を1,2滴入れ、様子を見て濃くしていく
細かいサンゴ(砂)を使用する場合は、透明レジン少量取り分け砂と混ぜる。



⑥モールドにレジン进行流し込み 封入物を入れる

1. 砂浜にする部分に、少量の透明レジン进行流す
2. 1が入っていない部分に、色付きレジン进行流す
3. 竹串で角や边をなぞる
※気泡の発生を防ぐため
※色付きレジンが透明レジンに混ざらないように注意
4. 1の上にレジン进行混ぜた砂を置く
5. 封入物を入れ、気泡がある場合は竹串で取り除く
※巻き貝は中に気泡があって浮きやすい為、一度レジンにくぐらせる
6. 砂が入っていない部分に色付きレジン进行注ぐ
7. 砂浜部分に透明レジン进行注ぐ
※6,7は少しずつ交互に入れると波打ち際が綺麗に仕上がる
8. 表面張力でぷっくりするまで、レジン进行注ぐ
※選んだ文字によってレジン量が違うので余る場合もある

モールドからレジンが溢れてしまった場合は、スポイトを使用しレジン量を調節する



⑦硬化させる

硬化中はホコリがつかないように箱などでカバーをする。



⑧硬化したらモールドから外す

約**2**日後、完全硬化したらモールドから外す。
※外す際、バリなどでケガをしないように注意



⑨完成後にバリがあった場合は取り除く

バリ取り→バリのできた部分のみヤスリがけする。
※表面はキズが付き白くなってしまうので注意。



クリスタルアルファベット完成！

※レッスンでキーホルダー加工までは行いません
※エポキシアートキットに
キーホルダー金具は入っておりません



補足：キーホルダー加工

- 1, ピンバイス(精密ドリル)で穴をあける。
- 2, ヒートンに接着剤をつけ、穴にさし込む。
※ヒートンが折れないように注意
- 3, 接着剤が乾いたら
キーホルダー金具を付ける。



※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます
※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます
※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒



LINE



Instagram

キウラート

～作り方～

用意するもの



材料

■クリスタルモールドレジン ■封入物(花材・穀物・ホイルなど)

道具

□電子スケール □キウラートモールド □はさみ □ピンセット □ガムテープ □竹串
□紙コップ(205ml) □混ぜ棒(太) □ビニール手袋 □プラスチックにクリアファイル
を付けた物(ファイルの外側＝ツルツル面が表に来るように接着)

★作り方★

①ガムテープでモールドの埃を取りながら キズがないかを確認する

埃・キズが残るとそのまま固まってしまうたり痕になって
しまう為、要確認する。

また、曇ったモールドを使用すると、完成後も曇ってしまう
ので劣化したモールドは交換する。

②封入したい物を決める

はさみでモールドに入る大きさにカットし、実際に配置する。
空気を多く含んだフワフワしたような素材は気泡が入りやす
いので避ける。

無理に押し込むと表面がボコボコの仕上がりになる為注意。
※モールドが逆さまなので下に入れたものが表面に出る



1日で作る事も可能ですが、作品の裏面に気泡が出来やすいため レッスンやエポキシアートキットでは2日かけ綺麗に仕上げる

(1日で仕上げる方法もあわせて紹介)



③レジン进行混ぜる

主剤3:硬化剤1の割合で**クリスタルモールドレジン**を混ぜる。
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまで
しっかりと混ぜる。

1日仕上げ: レジン使用量140g(主剤105g:硬化剤35g)

2日仕上げ: 1日目のレジン使用量100g(主剤75g:硬化剤25g)

⇒硬化後、レジン进行足す。



④レジン进行モールドに入れる

一度封入物を取り、モールドの平らな部分と溝全体が浸かる
までレジン进行注ぐ。

溝部分は気泡が残りがやすい為、指で押し気泡を抜く。



⑤花材进行入れ、残りのレジン进行入れる

花材の上にしっかりとレジンがかかるように、レジン进行注ぐ。

2日仕上げの場合: モールド8分目(フチまで)を目安に、入れる
量を調整する。

1日仕上げの場合: 表面張力てぷっくりするくらいまで注ぐ。

※花材を混ぜ棒で軽く押さえて、花材の下にある気泡を取り除く

※レジンがハネるので、目に入らないよう注意

※花材の量によってレジンが余る場合がある



⑧レジン进行混ぜる

クリスタルモールドレジン(主剤3:硬化剤1)を混ぜる。

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまで
しっかりと混ぜる。

計算上だと2日目のレジン使用量は40gですが、

花材がレジン进行吸うことも懸念されるため、

多めの60g(主剤45g:硬化剤15g)を準備



⑨レジン进行入れ、 モールドのフチの内側の気泡を取り除く

表面張力てぷっくりするくらいまで注いだら、モールドのフチの
内側に気泡が残りがやすいため、竹串などでなぞり気泡を取り除く。

※花材の量によってレジンが余る場合がある



⑩板で蓋をする

レジンとの接着面はクリアファイルのツルツルの面になるように
板进行モールドのフチからゆっくりと、空気を抜きながら降ろす。
空気が入っていない箇所を指で押さえ、外側に空気を逃がすよう
にする。

※大きな空気が入ってしまうとバリになるので注意



⑪硬化後、板进行取りモールドから外す

約3日後、完全硬化後にモールドから外す。

裏面に気泡が出来た場合は、UVレジンで埋めることが出来る。

バリができていた部分はヤスリで削る。

※面を削るとキズが付き、曇ったようになってしまうので注意



キウラート完成!



⑥モールドのフチの気泡を取る

モールドのフチまでレジン进行入れたら、竹串などでなぞり
気泡を取り除く。



⑦板で蓋をする

レジンとの接着面はクリアファイルのツルツルの面になるように
板进行蓋をする。

**1日目のレジンがしっかりと固まったらフタを外し2日目の作業へ
(目安は2日後以降)**

※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

**エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒**



LINE



Instagram

封入物一覧

こちらの表に記載のない花材は、
エポキシアート協会でも未確認の状態です。

その点をご理解の上で、
使用（チャレンジ）していただくことは可能です。

花材選び と 封入時の注意事項

- ・ モールドに入る大きさの物を選ぶ
- ・ 淡い色は退色しやすい
(パステルカラーよりハッキリした色の方が色持ちが良い)
- ・ 厚みのある花材（ポアプランツやヘリクリサムなど）は
手で押しつぶして入れる
- ・ 実物は中に空気が入っているので割れてしまうので避ける
- ・ 細かい花材ばかりだとレジンを入れた時に
花材が動いたり浮いたりしやすい
- ・ 柔らかいものは多少は上に出てもフタをするので大丈夫
- ・ 硬い封入物はモールドから飛び出ているとフタをした時に
閉まらなかったり、無理に押し込むと表面がボコボコの仕上がり
になってしまうので注意

おすすめ花材

ヘリクリサム	大きさに注意
デイズ	大きさに注意
ポアプランツ	手の平で潰して入れる
ラグラス	1～2本、抜け毛を先にしごいておく
フローレンティナ	
ハッピーフラワー・ ジャジルダ	
カスミソウ (ゴールド・シルバー)	他の色は難ありに記載
稲・小麦	
アベナ	
ハイブリット スターチス	花先がポロポロ落ちやすいので注意
スターフラワー	花先だけだと動く、莖ありだと花は上向きになる
ミリオクラダス	
アスパラスプリンゲ リー	
スケルトンリーフ	1～2枚、白は透けて目立ちにくくなる
ティーツリー	

宇宙

COSMOプレート

～作り方～

用意するもの



材料

■波専用レジン ■シュプリームホワイト ■板(丸) ■着色剤 ■ラメ

道具

- ☐電子スケール ☐非接触型温度計 ☐ガストーチ ☐はさみ ☐ピンセット
- ☐ビニール手袋 ☐紙コップ(205ml・60ml) ☐混ぜ棒(太・細) ☐カバー箱
- ☐マスキングテープor(対面レッスンで複雑な形の板に変更の場合)Resin off+布
- ☐ヒートガン(レジンの化学反応を意図的に早めたい場合のみ使用)

★作り方★



①板の側面と裏にマスキングテープを貼る
流したレジンが側面や裏面に付かない様にする為、マスキングテープを貼る。

※エポキシアートキットに入っている板には既にマステ貼り済み
※対面レッスンの場合+¥1800でMDFのMサイズに変更可(複雑な形の場合は、Resin off使用)



②着色剤4色を決める

着色剤同士の反応によって柄を出すため、出来るだけ違う種類の着色剤を選ぶ。

※エポキシアートキットには4色在中
※ペースト状の濃いものの方がメインの色として出やすい



③レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で**波専用レジン**を混ぜる。
レジン使用量135gの場合**(主剤90g:硬化剤45g)**
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。



④レジン进行粘度をつける

レジンの硬化熱でレジン温度が**40～45度**くらいになるまで放置する。
※寒いとレジン硬化は遅く、暑いと硬化が早い
※目安：室温25度で15分～20分程度
化学反応が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジン进行温める。
その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、1～2分後に計測。温度が基準に入ったら次の工程へ。



⑤レジン进行4つに分けて着色剂进行混ぜる

小さい紙コップにレジン进行4等分に分け、着色する。
※レジン进行量らず目分量でもOK
青系の着色剂はレジン进行硬化を早める性質があるので**青より遠い色から着色する**。例) 白→緑→青

着色剂进行量の目安

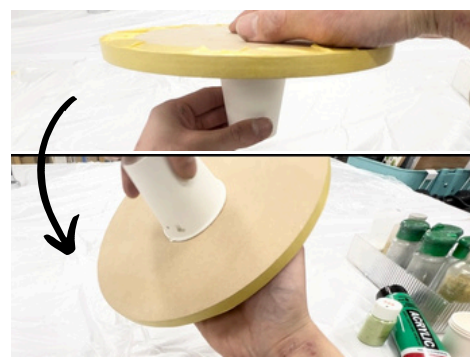
色味の見方：カップに入っただけだと濃く見えるので混ぜ棒でレジン进行すくい、棒上のレジンや垂れるレジンの色を見る

- ・黒は入れすぎ注意！！
- ・シュプリームホワイト⇒大豆2個分位
- ・アクリル絵の具⇒大豆2～3個分
- ・マイカパウダー⇒色によって差があるので細い混ぜ棒2杯くらいから様子見で増やす
※ゴールド系は1～2杯から様子を見る
- ・液状アクリル樹脂絵の具⇒色によって差があるので4～5滴から様子見で増やす
※カチャカチャ鳴るまでボトルをしっかり振ってから使用
(エポキシアートキットには液状アクリル樹脂絵の具は入っていません)



⑥新しい大きい紙コップに4色のレジン进行入れる

入れる順番は好きな順に入れる。
※紙コップの中では混ぜない！



⑦紙コップの上に板を被せ、ひっくり返す

【事前準備】

小さな紙コップ4つをテーブルに配置して置く。
※レジン进行施した作品を置くため
ひっくり返す際、紙コップと板を離さないように注意する。
※レジン进行漏れてしまう為



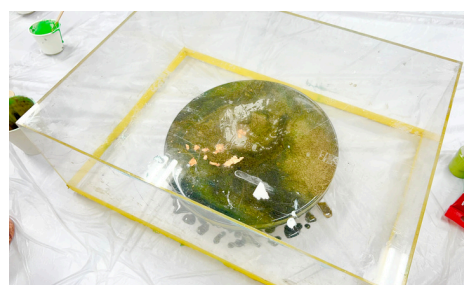
⑧紙コップを取り、傾けながら全体に広げる

紙コップの表面についているレジンも取りたいので5～10秒程度そのままにする。その後、紙コップを取り外す。
※傾けるときは服の袖等に付着しないよう注意
※早く傾けると柄が崩れるので注意
※レジンが硬く動きにくい場合はヒートガンを当てる



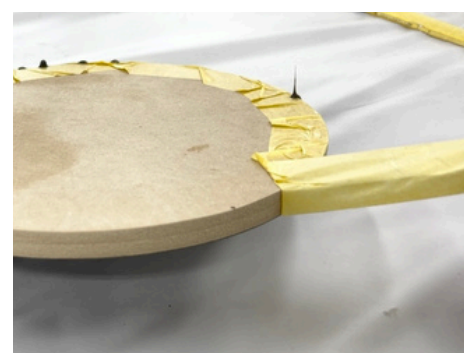
⑨ガストーチで気泡を取り、ラメ进行振る

1点に集中して火を当てると焦げてしまうため、左右に振りながら全体に流すように当てる。
※ラメは燃えるので、トーチで気泡を取ってからラメ进行振る
※ラメは使用しなくてもOK(お好みで)



⑩約2日間硬化を待つ

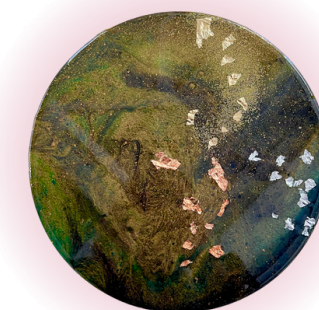
硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。



⑪完全硬化後にレジン进行剥がす

【マスキングの剥がし方】
ヒートガンなどでテープを温めながらゆっくり剥がし、レジンが分厚く垂れている部分はカッターで切れ込みを入れて剥がす。
【Resin offの場合のレジンの取り方】
ヘラのようなものでレジン进行剥がす。
※ヒートガンなどでレジン进行温めると更に取れやすい
※レジン痕が残った場合はヤスリで削る

宇宙COSMOプレート完成！



※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます
※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます
※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒



LINE



Instagram

～1技法作り方～



用意するもの



材料

■波専用レジン ■シュプリームホワイト ■Cell Add ■板(B5) ■着色剤 (エポキシアートキットにはアクリル絵の具在中) ■ラメ(対面レッスン限定)

道具

☐電子スケール ☐ヒートガン ☐非接触型温度計 ☐ガストーチ ☐はさみ ☐スポイト
☐ビニール手袋 ☐紙コップ(150ml・60ml) ☐混ぜ棒(太・細) ☐カバー箱
☐マスキングテープor(対面レッスンで複雑な形の板に変更の場合)Resin off+布

★作り方★

①板の裏にマスキングテープを貼る



※エポキシアートキットに入っている板には既にマステ貼り済み
※対面レッスンの場合+¥1800でMDFのMサイズに変更可(複雑な形の場合は、Resin off使用)

～机が平行であることを事前に確認～

②レジンを混ぜる



主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン^①を混ぜる。
レジン使用量90gの場合(主剤60g:硬化剤30g)
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるま
でしっかりと混ぜる。



③ レジンの粘度をつける

レジンの硬化熱でレジン温度が**40～45度**くらいになるまで放置する。
※寒いとレジンの硬化は遅く、暑いと硬化が早い
※目安：室温25度で15分～20分程度
化学反応が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジンを温める。
その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、
1～2分後に計測。温度が基準に入ったら次の工程へ。



④ レジンを3つに分ける

紙コップに白波用レジンを10g取り分ける。
残った80gのレジンを2等分(海色用)にする。



⑤ レジンに着色剤を混ぜる

白波用レジンにはシュプリームホワイト(大豆1個分くらい)を混ぜる。青系の着色剤はレジンの硬化を早める性質があるので**青より遠い色から着色する。** 例) 白→緑→青
※色味の見方：カップに入ったままだと濃く見えるので混ぜ棒でレジンをすくい、棒上のレジンや垂れるレジンの色を見る
※着色剤を混ぜてからは硬化が早いので注意
※(対面レッスン限定)ラメをレジンに混ぜてもOK



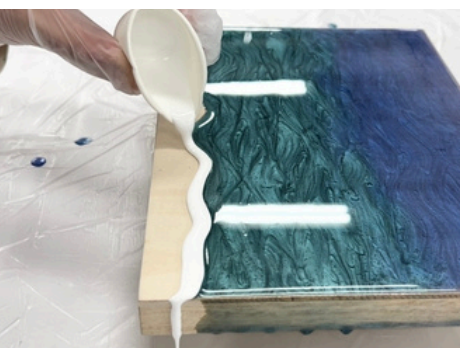
⑥ 粘度を確認し、板に海色レジンを流し込む

板の下に紙コップを置き、板を浮かせた状態で作業を行う。
※レジンを流す前に板ががたつかないか再確認
海色レジンを板に流し、棒や指でレジンを広げ隙間を埋める。
手前の色を流すときは、波の形も同時に作る。側面も忘れずに。
最後に、2色の間を左右に指で往復しグラデーションをかける。



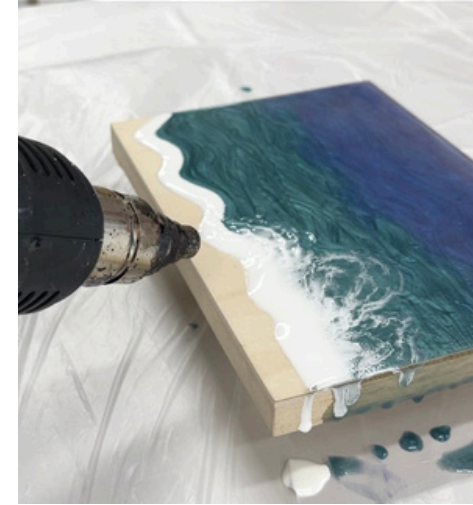
⑦ 粘度を確認し、白レジンにCell Addを混ぜる

白レジンを**流す直前にCell Add**をスポイトで入れて混ぜる。
Point：Cell Addが揮発する際、波の網目模様を作る手助けをする
※レジンが緩い場合は少し待ち、粘度がついてからCell Add添加
※10gに対して4～6滴（Cell Addの量は目安）
※粘度を高めたレジンがサラサラに戻らぬよう添加量注意
※Cell Addは揮発性が高いため、蓋はしっかり閉める



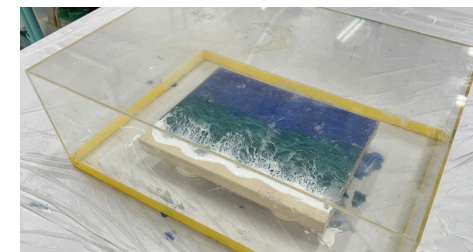
⑧ 白レジンを波打ち際のフちに流す

海色レジンと板の両方に被るように白レジンで一本線を描く。
※白レジンと海色レジンの間に隙間が出来ない様に流し、隙間ができた場合は混ぜ棒などで埋める
※線幅は0.5cm～1cm程度（細いと波の範囲は狭く、太いと広がる）



⑨ ヒートガンで波を広げる

“高温/弱風”で白レジンの上を3往復当て、海色レジンと白レジンを馴染ませる。
“高温/強風”でヒートガンを左右に振りながら風を当てる。
※白レジンが海色レジンの上に、薄く膜を張るようなイメージで
※1ヵ所だけに風が当たり続けられない様に注意(凹み戻らなくなる)
※基本1回勝負！何度も風を当てると波の網目模様は崩れる
※(状況に応じて)剥げた部分に白レジンを足す
※白レジンが硬くなった場合はヒートガンで温めると緩む
※白レジンを足した後はヒートガンを当てない（波が崩れるため）



⑩ ガストーチもしくはバーナーで気泡を飛ばす

1点に集中して当てると焦げてしまうため、左右に振りながら流すように当てる。
※火を当てるのは沖合（奥側）の部分だけがおすすめ
➡波側に当てると波が崩れる恐れあり
※(対面レッスン限定)ラメを振りたい場合は気泡を取った後に振る

⑪ 約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。

⑫ 完全硬化後にレジンを剥がす

【マスキングの剥がし方】
ヒートガンなどでテープを温めながらゆっくり剥がし、
レジンが分厚く垂れている部分はカッターで切れ込みを入れて剥がす。
【Resin offの場合のレジンの取り方】
ヘラのようなものでレジンを剥がす。
※ヒートガンなどでレジンを温めると更に取れやすい
※レジン痕が残った場合はヤスリで削る



海SEAプレート完成！



※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます
※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます
※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒



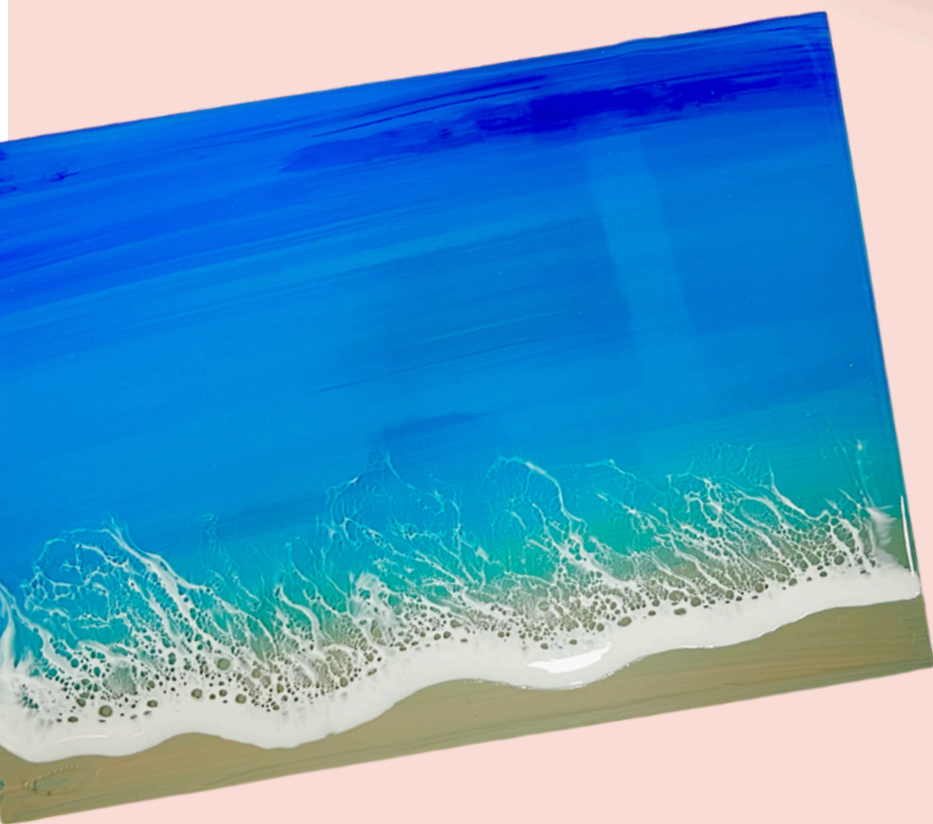
LINE



Instagram

海 SEAプレート

～2技法作り方～



用意するもの



材料

■波専用レジン ■シュプリームホワイト ■Cell Add ■板(B5)

■アクリル絵の具

(対面レッスン: 砂浜1色・海色3色までOK/エポキシアートキット: 砂浜1色・海色2色在中)

■コピックインク

(対面レッスン限定: 1日で制作する場合 使用)

道具

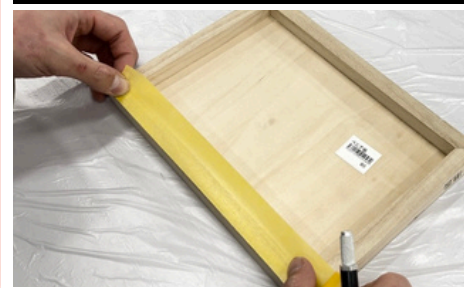
- ☐電子スケール ☐ヒートガン ☐非接触型温度計 ☐ガストーチ ☐はさみ ☐筆 ☐バケツ
- ☐スポイト ☐ビニール手袋 ☐紙コップ(150ml・60ml) ☐混ぜ棒(太・細) ☐カバー箱
- ☐マスキングテープ or (対面レッスンで複雑な形の板に変更の場合) Resin off+布

★作り方★

対面レッスン: 1日仕上げ

エポキシアートキット: 2日仕上げ

★マニュアルには両方のコツを記載しています★



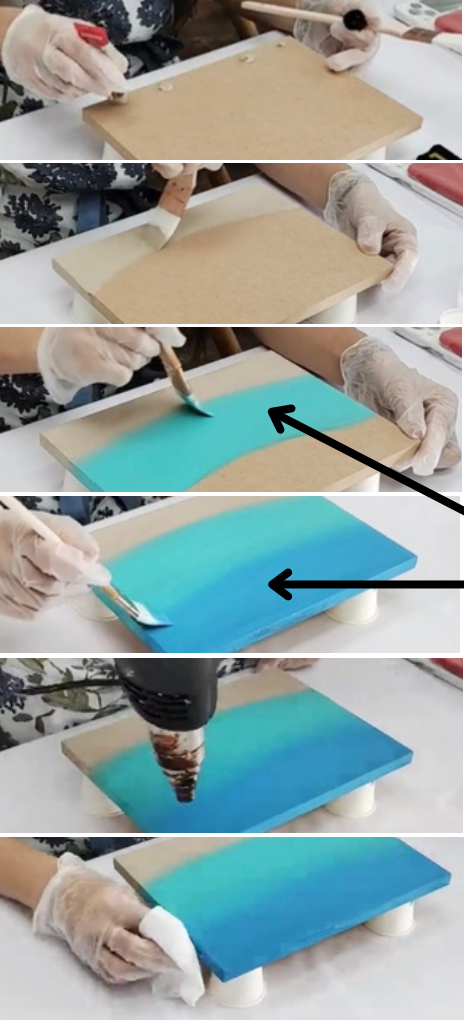
①板の裏にマスキングテープを貼る

流したレジンが裏面に付かない様、マスキングテープを貼る。

※エポキシアートキットに入っている板には既にマステ貼り済み

※対面レッスンの場合+¥1800でMDFのMサイズに変更可

(複雑な形の場合は、Resin off使用)



②板にアクリル絵の具で色を塗り、乾かす

1. 板の下に紙コップを置き、板を浮かせる
※机が平行であることや、板ががたつかないかを確認
2. 絵の具を塗る（砂浜→浅瀬→沖合の順）
※水の量は多すぎ注意！筆に染みこませるくらい
※砂浜部分は気持ち広めに塗っておくのがおすすめ
※波打ち際の形を考えて塗る
※板の側面も忘れずに
3. グラデーションをかける
1色目と2色目が塗れたら、境目をぼかす
2色目と3色目が塗れたら、境目をぼかす の順
※ぼかす時は絵の具を足さない
※途中で筆は表裏ひっくり返さない
4. 絵の具を完全に乾かす(ヒートガンを使用し時短)
※低温で！風が熱すぎたり、板に近すぎると気泡が発生するため
※側面もしっかり乾かす
※ティッシュを軽く当てて、乾いているか確認
5. 裏面に絵の具が溜まりやすいので、ティッシュでぬぐう

③～⑥は2日仕上げのみ、1日仕上げは⑦にスキップ

2日仕上げ：ヒケ防止のため、板をレジンでコーティングする方法



③レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で**波専用レジン**を混ぜる。
レジン使用量90gの場合**(主剤60g:硬化剤30g)**
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。



④レジン进行粘度をつける

【粘度をつける理由】
サラサラの状態では板に流すと、板にレジンが染み込み
端のレジンが吸われてなくなってしまうため
※はちみつの緩いくらいのとろみになったら、次の工程へ
※時間を置きすぎると硬化するので注意



⑤粘度を確認し、板にレジン进行流し込む

レジン进行板に流し、棒や指で塗り広げる。側面も忘れずに。
※レジンが温かいと感じたら、素早く作業する
※気泡があれば、トーチで消す

⑥カバーをして硬化を待つ

※波専用レジンは約2日で完全硬化するが、ここではある程度固まっていれば、次の工程へ進んでOK



⑦レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で**波専用レジン**を混ぜる。
レジン使用量90gの場合**(主剤60g:硬化剤30g)**
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。



⑧レジン进行粘度をつける

硬化熱でレジン温度が**40～45度**くらいになるまで放置する。
※寒いとレジン进行硬化は遅く、暑いと硬化が早い
※目安：室温25度で15分～20分程度
化学反応が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジン进行温める。
その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、
1～2分後に計測。温度が基準に入ったら次の工程へ。



⑨白波用レジン进行取り分けて着色

紙コップに10g(白波用)を取り分け、シュプリームホワイト
(大豆1個分くらい)を混ぜる。
※色味の見方：カップに入っただけだと濃く見えるので混ぜ棒でレジン
をすくい、棒上のレジンや垂れるレジンの色を見る

⑩は1日仕上げのみ、2日仕上げは⑪にスキップ



⑩透明レジンにコピックインク进行混ぜる

※ここでの色付けはレジンの収縮による波崩れを軽減させるため
※ほんのり色がつくくらいでOK
※コピックインクは色によって変色するので色選び注意
※(対面レッスン限定)ラメをレジンに混ぜてもOK



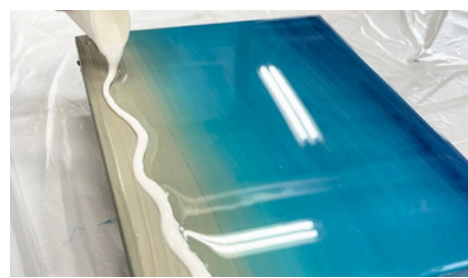
⑪粘度を確認し、板に海用レジン进行流し込む

海用レジン进行板に流し、棒や指でレジン进行広げ隙間を埋める。
波打ち際の形も決める。側面も忘れずに。
※レジンが緩いと波打ち際が手前に流れてきてしまうので粘度に注意



⑫粘度を確認し、白レジンにCell Add进行混ぜる

白レジン进行**流す直前にCell Add**をスポイトで入れて混ぜる。
Point：Cell Addが揮発する際、波の網目模様を作る手助けをする
※レジンが緩い場合は少し待ち、粘度がついてからCell Add添加
※10gに対して4～6滴（Cell Addの量は目安）
※粘度を高めたレジンがサラサラに戻らぬよう添加量注意
※Cell Add揮発性が高いため、蓋はしっかりと閉める



⑬白レジン进行波打ち際のフチに流す

海用レジンと板の両方に被るように 白レジンで一本線を描く。
※白レジンと海用レジンの間に隙間が出来ない様に流し、隙間が
できた場合は混ぜ棒などで埋める
※線幅は0.5cm～1cm程度（細いと波の範囲は狭く、太いと広がる）



⑭ヒートガンで波を広げる

“**高温/弱風**”で白レジンの上を3往復当て、海用レジンと白レジンとを馴染ませる。

“**高温/強風**”でヒートガンを左右に振りながら風を当てる。

※白レジンが海用レジンの上に、薄く膜を張るようなイメージで

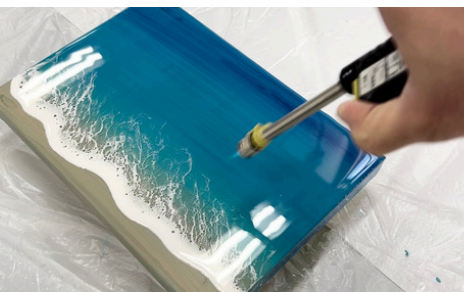
※1ヵ所だけに風が当たり続けられない様に注意(凹み戻らなくなる)

※基本1回勝負！何度も風を当てると波の網目模様は崩れる

※(状況に応じて)剥げた部分に白レジンを足す

白レジンが硬くなった場合はヒートガンで温めると緩む

※白レジンを足した後はヒートガンを当てない(波が崩れるため)



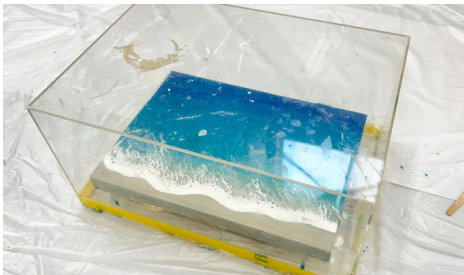
⑮ガストーチもしくはバーナーで気泡を飛ばす

1点に集中して当てると焦げてしまうため、左右に振りながら流すように当てる。

※火を当てるのは沖合(奥側)の部分だけがおすすめ

➡波側に当てると波が崩れる恐れあり

※(対面レッスン限定)ラメを振りたい場合は気泡を取った後に振る



⑯約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。



⑰完全硬化後にレジンを剥がす

【マスキングの剥がし方】

ヒートガンなどでテープを温めながらゆっくり剥がし、

レジンが分厚く垂れている部分はカッターで切れ込みを入れて剥がす。

【Resin offの場合のレジンの取り方】

ヘラのようなものでレジンを剥がす。

※ヒートガンなどでレジンを温めると更に取れやすい

※レジン痕が残った場合はヤスリで削る



海SEAプレート完成！



※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒



LINE



Instagram



ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル
アートボード



オリジナルレジン



オリジナル時計盤

オリジナル材料
その他材料の購入はこちら⇒



Mstore